

日本応用老年学会メールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者にむけて日本応用老年学会事務局が毎月発行しております。

— 目次 —

【1】年次総会のお知らせ ホームページ更新

●NEW! 「最新プログラム」ご案内

●NEW! 「総会ポスター」ご案内

●NEW! 「最新 総会開催要項」ご案内

●非会員の参加について

【2】ホームページ NEW! 「SAG-J 広場」更新

第6回国立長寿医療研究センター国際シンポジウム  
「認知症とサルコペニア」

【3】朝日新聞連載「古い 十五章」柴田 博

8. 仕事にいきる人生経験 (2008年2月25日 夕刊)

---

【1】年次総会のお知らせ 2010年11月6日 (土)

一般報告も加わり、プログラム更新! HP

●NEW! 「最新プログラム」ご案内

●NEW! 「総会ポスター」ご案内

●NEW! 「最新 総会開催要項」ご案内

●非会員の参加について

※詳細はこちらから 学会 HP「年次総会・講演会他」

<http://www.sag-j.org/event/>

---

【2】ホームページ NEW! 「SAG-J 広場」更新

会員の皆さまの情報をホームページでご紹介させていただいております。

シンポジウムのご案内 ホームページ NEW! 9/30

第6回国立長寿医療研究センター国際シンポジウム

「認知症とサルコペニア」のご案内

※詳細はこちらから

学会 HP「SAG-J 広場」

<http://www.sag-j.org/community/>

---

【3】「古い 十五章」朝日新聞掲載

日本応用老年学会理事長 柴田 博

9 豊かな食、次世代に伝えて(2008年3月3日 夕刊)

高齢者が、その知識と経験を生かしながら社会とのかかわりを持つにはどうすればいいのでしょうか。

高齢者というと「弱者」とか「いたわりの対象」と考えられてきたのではないのでしょうか。一部に「社会のお荷物」といった見方もあった

ように思えます。

以前勤務していた東京都老人総合研究所では、高齢者の社会貢献活動として、園児や児童に絵本の読み聞かせ活動をしています。

核家族化の中で子どもが高齢者とふれあう場、といえばそうなのですが、積み重ねた人生経験が醸し出され、読み聞かせの場を通じて子どもに伝わります。

出番はまだあります。たとえば食事です。

日本人は豊かな食文化を育んできました。現在、デパートやスーパーに並ぶ食材と比べると、昔は貧しかったでしょう。でも、大豆一つをとっても、あれだけ様々な食べ方を生んできたのです。今の子育て世代の若い夫婦は仕事にいそがしく、「食事はつい出来合いのものを」ということになりかねません。若者のカロリー摂取量が減っていることにも影響しているでしょう。

自分たちの食事を自信を持って次世代に伝えていこう。学校や地域で、こんな取り組みが広がってほしいものです。

.....

以上

- 
- ・ 内容、記事に対するご意見、ご感想、ご要望などは、日本応用老年学会「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡お願いいたします。
  - ・ このメールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者の皆さまに配信しております。配信の停止は「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡お願いいたします。

---

編集・発行: 日本応用老年学会事務局  
(掲載記事の無断転載を禁じます)

---

日本応用老年学会事務局  
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2  
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター  
研究所 自立促進と介護予防研究チーム内  
TEL : 03-3471-2370  
E-mail: info@sag-j.org  
日本応用老年学会ホームページ  
<http://www.sag-j.org/>

---